

新型『アウトランダー』が米国 IIHS の安全性評価において最高評価を獲得

三菱自動車工業株式会社（本社：東京都港区、代表執行役社長兼最高経営責任者：加藤 隆雄、以下三菱自動車）は、新型『アウトランダー』のガソリンエンジンモデルが米国道路安全保険協会（IIHS）^{*1}の安全性評価において、最高評価である「トップセーフティピックプラス（TSP+）」^{*2}を獲得したことを発表しました。



新型『アウトランダー』

今回の「TSP+」評価は、ヘッドライトの光軸調整を行った2021年6月以降に生産された米国仕様車を対象となります。新型『アウトランダー』はIIHSの耐衝撃性能試験、対車両および対歩行者での前面衝突予防試験、ヘッドライト性能試験において、高い衝突安全性能と予防安全性能が評価されました。

新型『アウトランダー』は2021年4月に北米で発売したクロスオーバーSUVで、ドライバーが安心して運転を楽しめるよう、充実した先進安全技術を搭載しています。高速道路同一車線運転支援技術「MI-PILOT（マイ・パイロット）」^{*3}は、レーダークルーズコントロールシステム[ACC]と車線維持支援機能[LKA]を統合した制御で、車間距離と車線中央付近をキープしながらの走行をサポートします。また、ナビリンク機能搭載車は、地図上のカーブ情報を活用して自動で速度を調整し、運転操作の負担を減らすことが可能です。

さらに、新型『アウトランダー』は、衝突被害軽減ブレーキシステム[FCM]、前方衝突予測警報[PFCW]、後側方衝突防止アシスト[ABSA]、車線逸脱警報システム[LDW]、車線逸脱防止支援機能[LDP]など多数の予防安全機能^{*3}を装備しており、三菱自動車独自の衝突安全強化ボディ「RISE^{*4}」と、運転席のフロントセンターエアバッグやセカンドシートのサイドエアバッグを含む計11個のエアバッグとあわせて、安全な運転をサポートします。

*1：米国道路安全保険協会（IIHS、Insurance Institute for Highway Safety）は市販車の衝突試験を実施し、安全性評価を行う非営利団体です。

*2：「トップセーフティピックプラス（TSP+、TOP SAFETY PICK+）」を獲得するには、IIHSの6種類すべての耐衝撃性能試験において「Good」、前面衝突予防評価において対車両および対歩行者で4段階評価の上位2点となる「Advanced」または「Superior」を獲得し、4段階評価の上位2点となる「Good」または「Acceptable」評価を得たヘッドライトを標準装備している必要があります。新型『アウトランダー』の「TSP+」評価は、ヘッドライトの光軸調整を行った2021年6月以降に生産された米国仕様車が対象となります。

*3：車両の仕様と機能はグレードや市場によって異なる場合があります。

*4：Reinforced Impact Safety Evolution

以 上